

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	休日診療所	
従たる施設の場合、主たる施設名	保健センター	

大分類	医療施設	中分類	医療施設	施設番号	75
-----	------	-----	------	------	----

所管部局	健康課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 天王町1丁目70番地 (中央小学校区)	敷地面積	- m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	休日診療所				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56年度	経過年数	44年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	201 m ²	うち借用面積	- m ²
階数（地上）	- 階	階数（地下）	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	1,176 人		2,337 人		1,872 人		1,795 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 ＋ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳			金額（円）		内 訳			金額（円）		
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費		-	
		国 費		-				修繕料		-	
		県 費		-				火災保険料		-	
		その他		-				維持管理委託料		-	
		市費（一般財源）		6,249,618				敷地借上料		-	
	合 計			6,249,618				工事請負費		-	
	施設外観 							その他維持費		-	
								小 計		-	
							②運営コスト	人件費		-	
								光熱水費		-	
	その他委託料		5,523,844								
	その他運営費（事業費）		725,774								
	小 計			6,249,618		合 計（①＋②）		6,249,618			
	コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
3,482 円/人					31,093 円/㎡						
利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
- 円/人					87 円/人						
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

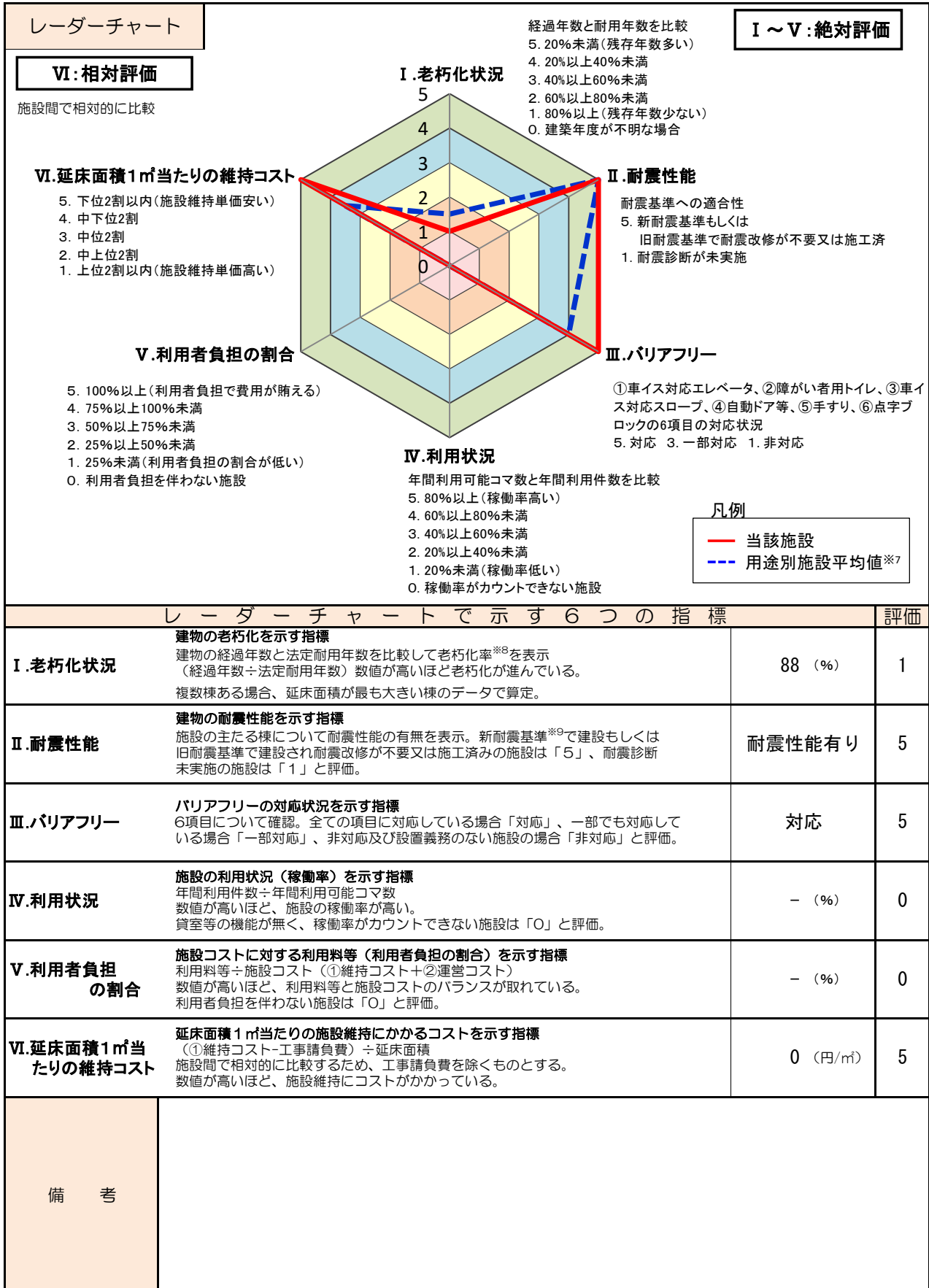
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和7年度
------	-------

施設名	休日・障害者歯科診療所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	医療施設	中分類	医療施設	施設番号	76
-----	------	-----	------	------	----

所管部局	健康課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 前浜町4丁目22番地 (大浜小学校区)	敷地面積	598 ㎡
		うち借地面積	598 ㎡

2 建物データ（複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。）

構成棟	休日・障害者歯科診療所				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和62年度	経過年数	38年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	420 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数（地上）	2階	階数（地下）	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均利用者数		管理形態		
	568 人		568 人		586 人		574 人		直営		
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内 訳			金額(円)		内 訳			金額(円)		
	収 入	利用料等			-		支 出	人件費	-		
		国 費			-			修繕料	93,328		
		県 費			-			火災保険料	4,368		
		その他			-			維持管理委託料	1,263,584		
		市費(一般財源)			18,651,242			敷地借上料	486,181		
	合 計			18,651,242		工事請負費		-			
	施設外観					その他維持費		86,256			
						小 計		1,933,717			
						②運営コスト		人件費	-		
								光熱水費	893,873		
					その他委託料		14,820,269				
					その他運営費(事業費)		1,003,383				
					小 計	16,717,525					
					合 計(①+②)			18,651,242			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3					延床面積1㎡当たりの施設コスト※4					
	32,493 円/人					44,408 円/㎡					
	利用者1人当たりの負担額※5					市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6					
	- 円/人					259 円/人					
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

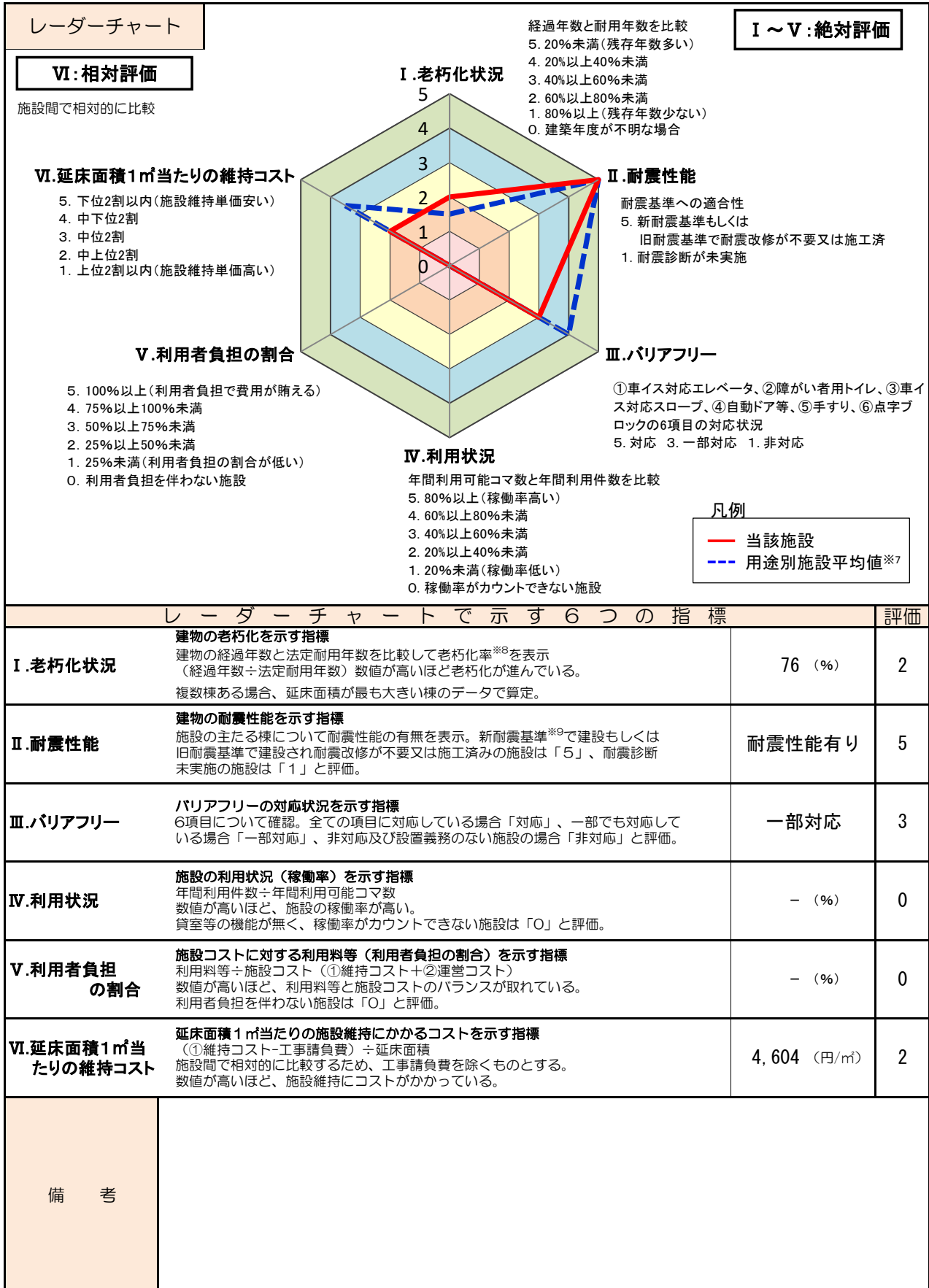
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト（①維持コスト＋②運営コスト）÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費（一般財源）÷人口（令和7年4月1日現在の72,111人）

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。